

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2023年7月～2024年6月】

昭和工業株式会社

《ご挨拶》

昭和39年2月に創業以来、60年の歳月を経て、技術を磨き多くの実績を積み上げてまいりました。建設業は、人間社会における日常生活に常に基本的な係わりをもつ仕事であり、その社会的使命と責任は将来にわたって要請されるものと思っております。今後も皆様の信頼に応え、地域社会への貢献に心がけてまいります。

昭和工業株式会社
代表取締役
荻原 栄一

《目次》

1. 組織の概要	P-1
2. 対象範囲	P-1
3. 環境経営方針	P-2
4. 環境経営目標	P-3
5. 環境経営計画	P-3
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	P-4
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P-5・6
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	P-7
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-7

1. 組織の概要

1. 事業所及び代表者名

昭和工業株式会社
代表取締役 荻原 栄一

2. 所在地

本社 〒370-2121 群馬県高崎市吉井町下長根 3 7 7 番地 1

工場 〒370-2127 群馬県高崎市吉井町長根 1 1 8 4 番地 1

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 荻原 栄一
代表責任者代理 : 専務取締役
環境管理責任者 : 常務取締役 営業部長
担当 : E A 2 1 事務局
TEL : 027-387-3511
FAX : 027-387-3500

4. 事業の内容

総合建設業・鉄構業

建設業許可番号 10-0003559

5. 事業規模

活動規模	単位	2022年	2023年
従業員数	人	23	24
延べ床面積	m ²	1,678	1,678

2. 対象範囲

1. 対象範囲（認証・登録範囲）

昭和工業株式会社 全組織及び全活動

環境経営方針

〔基本理念〕

私たちは、かけがえのない地球を守ることが、人類共通の最重要課題のひとつと認識し、社訓にある「和は力なり」「創意は進歩なり」「努力は勝利なり」を基本に事業活動を通じて社会に貢献します。

〔基本方針〕

当社は、社会インフラとしての土木工作物、橋や横断歩道橋などの鋼構造物、生活を豊かにする建築物の提供、建築物の基礎となる鉄骨製作を通じて社会に貢献することを目指します。

＜環境への取組の重点分野＞

1. 環境負荷低減のための施工計画の策定及び施工の推進
2. 節電、省エネ型重機の導入及び使用による二酸化炭素排出量の削減
3. 建設現場から排出される産業廃棄物の適正処理及び建設リサイクルの推進
4. 環境経営の継続的改善の実施
5. 事業活動において適用される環境関連法規等の遵守
6. 環境経営方針の全社員への周知
7. 環境に関する情報の社内外への公表及び地域社会とのコミュニケーションの実施

2024年 9月 1日

昭和工業株式会社

代表取締役
荻原 栄一

4. 環境経営目標 5. 環境経営計画

環境経営目標(環境経営レポート対象期間)				環境経営計画(環境経営レポート対象期間)		
	項目	基準年 (実績)	2023年度 目標	本社	建設 現場	実施事項
1	売り上げ 100万円 当り二酸化炭素 排出量の削減	2022年度 (139.11kg- CO2/100万円)	2022年度に対して 1%減	○		①空調温度適正化・表示
				○	○	②照明・PC電源不要時のOFFの推進
				○	○	③エアコン清掃の実施
				○	○	④エコドライブ推進
				○	○	⑤社用車の点検・整備
					○	⑥省エネ型建設機械の利用
				○	○	⑦アイドリングストップの徹底
				○		⑧電力、ガソリン量の集計
2	売り上げ 100万円 当り一般 廃棄物 排出量の削減	2022年度 (1.39kg/100万円)	2022年度に対して 1%減	○	○	①分別ルールの徹底
				○	○	②廃棄物置場の整備
				○	○	③廃棄物排出量の集計
				○		④裏紙使用ルールの徹底
					○	建設リサイクルの推進
3	従業員1 人当たりの水使用 量の削減	2022年度 (7.13m ³ /人)	2022年度に対して 1%減	○		①毎月のメータを確認する(漏水防止)
				○	○	②節水表示
				○		③トイレの節水
					○	節水活動の徹底
4	化学物 質取扱 及び管 理の徹 底	—	取扱商品の調査	○		①取扱商品(化学物質含有)の調査
				○		②購入量の把握
				○		③SDSの入手
				○		④取扱商品一覧表の作成
5	本業に 関する 目標	①生物多様性等地域環境に配慮した工法の採用(工法の提案及び採用件数を把握する)				
		②環境負荷の少ない方法の提案及び採用(提案及び採用件数を把握する)				
		③廃棄物再資源化率の向上(再資源化率を把握する)				

*購入電力(本社)の排出係数は、0.441kg-CO2/kWh【東京電力エナジーパートナー(株)】を使用しています。

*購入電力(工場)の排出係数は、0.519kg-CO2/kWh【伊藤忠エネクス(株)】を使用しています。

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

空調温度適正化・表示



節水表示



エコドライブ・アイドリングストップ・重機の省エネ



建設現場での取組内容

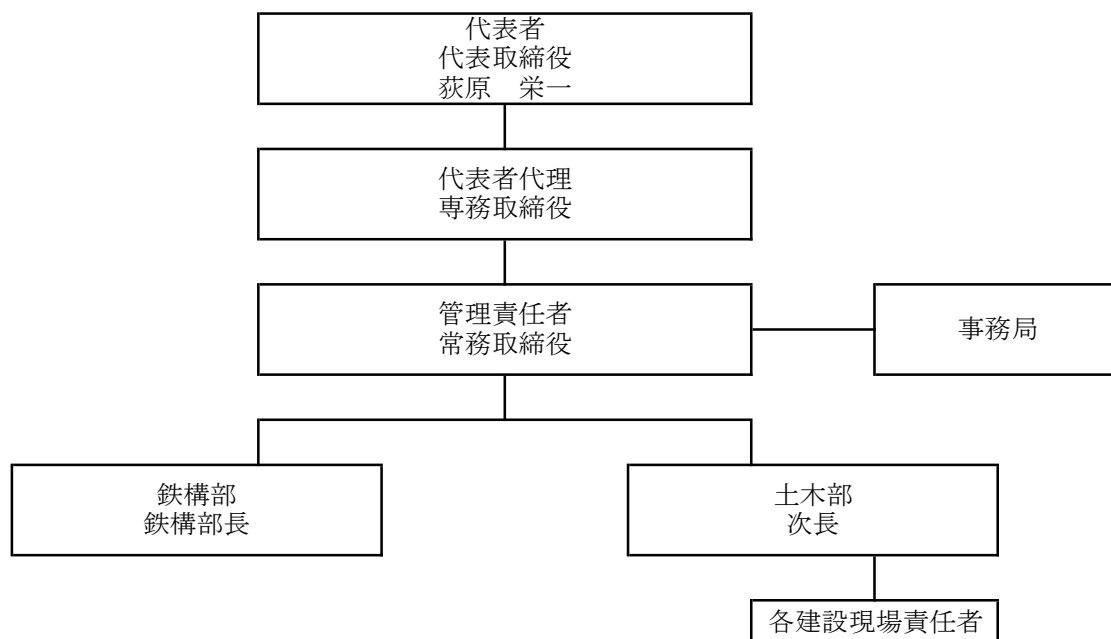


使用機械
PC30UUC
第3次基準値排出ガス対策型
'97基準値 超低騒音型
特定自主検査済
定期自主検査済
新井監督員立ち会い



使用機械
PC30UUC
第3次基準値排出ガス対策型
'97基準値 超低騒音型
特定自主検査済
定期自主検査済
新井監督員立ち会い

エコアクション21取組の実施体制



7. - 1 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

環境経営目標							環境経営計画	
	項目	基準年 (実績)	2023年度 目標	2023年度 目標値	2023年度 実績	目標の達 成状況	実施事項	評価
1	売り上げ 100万円 当り二酸化炭素 排出量の削減	2022年 度 (139.11 kg- CO2/10 0万円)	2022年 度に 対し て1%減	137.72	156.18	未達成	①空調温度適正化・表示	◎
							②照明・PC電源不要時のOFFの推進	◎
							③エアコン清掃の実施	◎
							④エコドライブ推進	○
							⑤社用車の点検・整備	◎
							⑥省エネ型建設機械の利用	◎
							⑦アイドリングストップの徹底	○
							⑧電力、ガソリン量の集計	◎
2	売り上げ 100万円 当り一般 廃棄物 排出量の削減	2022年 度 (1.39kg /100万 円)	2022年 度に 対し て1%減	1.35	1.96	未達成	①分別ルールの徹底	○
							②廃棄物置場の整備	◎
							③廃棄物排出量の集計	◎
							④裏紙使用ルールの徹底	◎
							建設リサイクルの推進	◎
3	従業員1 人当た りの水 使用 量の 削減	2022年 度 (7.13m ³ /人)	2022年 度に 対し て1%減	7.06	3.8	達成	①毎月のメータを確認する(漏水防止)	◎
							②節水表示	◎
							③トイレの節水	◎
							節水活動の徹底	◎
4	化学物 質取扱 及び管 理の徹 底	—	取扱商 品の調 査	—	取扱商 品一 覧表 が作 成さ れた	達成	①取扱商品(化学物質含有)の調査	◎
							②購入量の把握	◎
							③SDSの入手	◎
							④取扱商品一覧表の作成	◎
5	本業に 関する 目標	①生物多様性等地域環境に配慮した工法の採用(工法の提案及び採用件数を把握する)						△
		②環境負荷の少ない工法の提案及び採用(工法の提案及び採用件数を把握する)						○
		③廃棄物再資源化率の向上(再資源化率を把握する)						○

※環境経営計画の取組・評価【◎良く取組めた・○取組めた・△取組みが不足していた・×取組めなかった】

※主な環境負荷実績

環境負荷	2022年 (60期)	2023年 レポート対象期間
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	115, 457	95, 693
②廃棄物排出量 (kg)	1, 155	1, 198
③水資源投入量 (m ³)	164	92

7. - 2 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標 (環境経営レポート対象期間の次年度及び中長期目標)						環境経営計画(環境経営レポート対象期間の次年度)		
	項目	基準年 (実績)	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標	本社	建設 現場	実施事項
1	売り上げ 100万円当 り二酸化炭 素排出量 の削減	2022年度 (139.11kg- CO2/100 万円)	2022年度 に対して 1%減	2022年度 に対して 2%減	2022年度 に対して 3%減	○		①空調温度適正化・表示
						○	○	②照明・PC電源不要時のOFFの推進
						○	○	③エアコン清掃の実施
						○	○	④エコドライブ推進
						○	○	⑤社用車の点検・整備
							○	⑥省エネ型建設機械の利用
						○	○	⑦アイドリングストップの徹底
						○		⑧電力、ガソリン量の集計
2	売り上げ 100万円当 り一般廃棄 物排出量 の削減	2022年度 (1.39kg /100万円)	2022年度 に対して 1%減	2022年度 に対して 2%減	2022年度 に対して 3%減	○	○	①分別ルールの徹底
						○	○	②廃棄物置場の整備
						○		③廃棄物排出量の集計
						○	○	④裏紙使用ルールの徹底
							○	建設リサイクルの推進
3	従業員1人 当たりの水 使用量の 削減	2022年度 (7.13m ³ / 人)	2022年度 に対して 1%減	2022年度 に対して 2%減	2022年度 に対して 3%減	○		①毎月のメータを確認する(漏水防止)
						○	○	②節水表示
						○		③トイレの節水
							○	節水活動の徹底
4	化学物質 取扱及び 管理の徹 底	—	取扱商品 の調査	取扱商品 の調査・管 理手順の 策定	管理手順 の順守	○		①取扱商品(化学物質含有)の調査
						○		②購入量の把握
						○		③SDSの入手
						○		④取扱商品一覧表の作成
5	本業に関 する目標	①生物多様性等地域環境に配慮した工法の採用(工法の提案及び採用件数を把握する)						
		②環境負荷の少ない方法の提案及び採用(提案及び採用件数を把握する)						
		③廃棄物再資源化率の向上(再資源化率を把握する)						
		④継続して調査して、使う場合はきちんとSDSで調べます						

次年度の環境経営目標及び環境経営計画について

エコアクション21運用を始めて間もないため、当初の中長期目標で次年度も進める。
同じく、環境経営計画も前年度と同じ計画で進める。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音規制法	特定建設作業の届出 コンプレッサーの届出	遵法
振動規制法	特定建設作業の届出 コンプレッサーの届出	遵法
フロン排出抑制法	3カ月/1回簡易点検の実施	遵法
浄化槽法	保守点検実施、法定検査実施	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、 マニフェスト交付・保存及び水 銀使用製品廃棄物（廃蛍光灯） の適正保管・処分、保管場所看 板掲示	遵法
消防法	少量危険物への該当の有無	遵守

2. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

2024年9月1日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

社会の流れの中で、地域で求められる会社を目指し、地域の代表する会社であることが目指している形である。その一環として環境問題に取り組む会社であることは重要な責務である。関連法規を遵守しながら、省エネや二酸化炭素の排出を少なくするよう意識し、努めることが会社にとっても重要なことである。仕事の多少や現場の遠近などに左右されることが考えられるが、一年を通して出た結果に対し、原因を分析し次の期への対策を考えることが重要なことである。